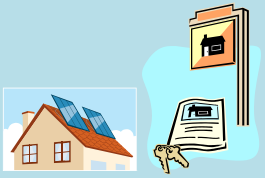
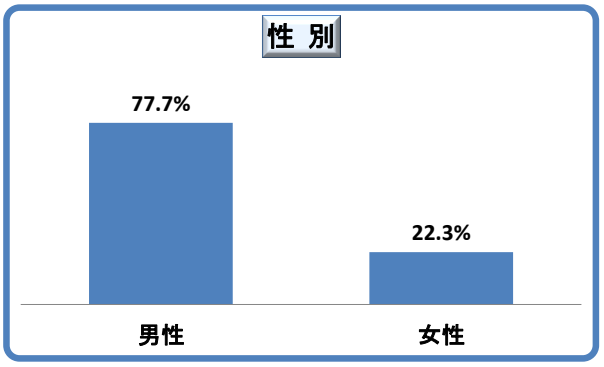
第１９回市政ｅ-モニターアンケート集計結果

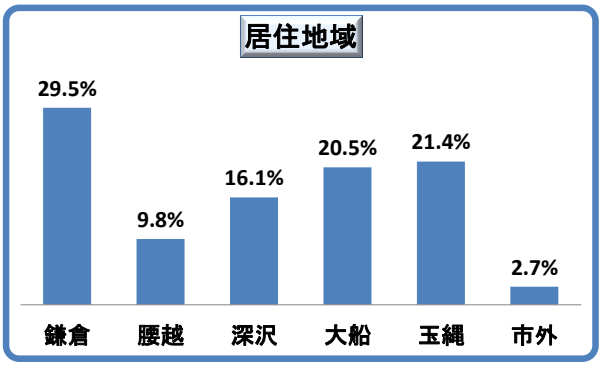
【テーマ】 財源確保の取組みについて
【目　的】 安全安心、教育や福祉、子育てなど様々な分野で最適な行政サービスを提供するためには、相応の財源確保が必要ですが、財源の多くを占める税収入は、今後も大幅な増額が見込めないため、市有資産（市の施設や物品、印刷物、WEBページなど）を活用した財源確保に取り組むと共に、新たな財源確保策も検討しています。
ついては、新たな財源確保策について市民の皆さまからアイデアをいただきたく、アンケートを行います。
なお、本市の主な取組みについては、広報かまくら（平成26年３月15日号）でも紹介していますのでご参照下さい。

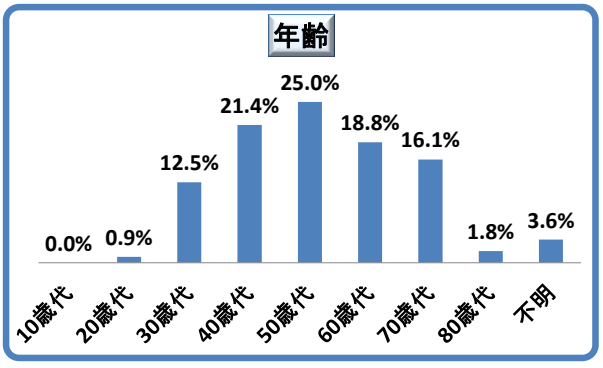
アンケート送信日	平成２６年 ４月２４日（木）
アンケート実施期間	平成２６年 ４月２４日（木）～ 平成２６年 ５月８日（木）
送信者数	２８１ 名（着信者数 ２７９ 名）
回答者数	１１２ 名
回答率（対着信者数）	４０．１％

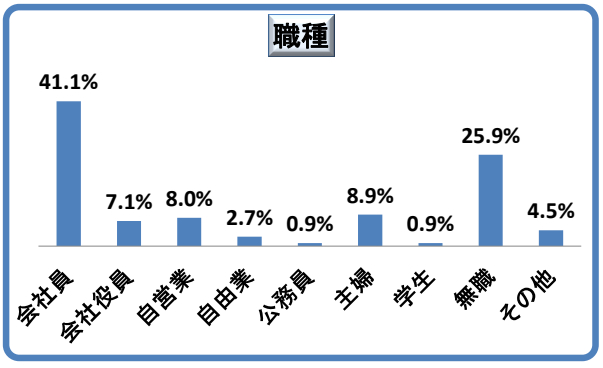


【今回の回答者の基本属性】



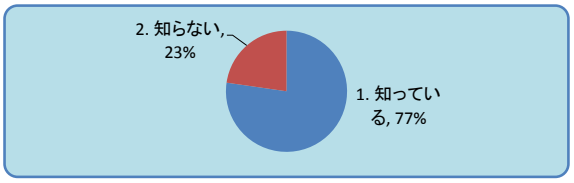






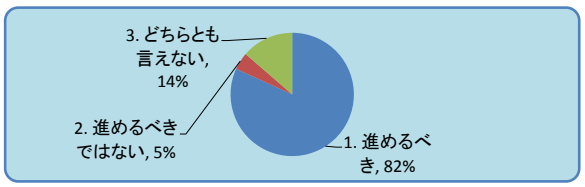
●質問１● 市では、市の印刷物や封筒、ホームページなどの媒体（市有資産）に民間広告を掲載し、財源確保を行っていますがご存じですか。

	(名)
1. 知っている	86
2. 知らない	26



●質問2● 広告収入による財源確保について、広告媒体（市有資産）の拡大などを積極的に進めたいと考えていますが考えをお聞かせ下さい。

	(名)
1. 進めるべき	92
2. 進めるべきではない	5
3. どちらとも言えない	15



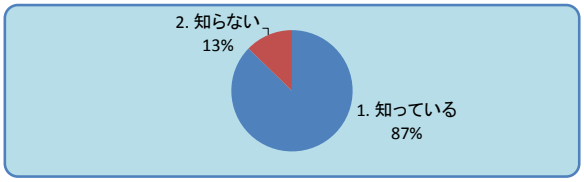
●質問3●　今後、広告掲載を検討すべきと考える広告媒体（市有資産）があればご記入ください。（自由記述）
（同様の回答については、一部集約をさせていただいております。）

・	花火。（市有ではありませんか？）
・	市体育館、武道館、各地域センター。
・	子どもの家・子ども会館。
・	きららXXなどの名称の行政センターや生涯学習センターを公募のネーミングライツで収入を得て、耐震化工事や、施設改善の費用をねん出してほしい。
・	「広町の森」や「中央公園」は？
・	観光客が多い通りの市有資産（建造物、電灯、観光案内冊子、桜の時期の提灯のような風景に溶け込む装飾品（夏は海岸線に季節の装飾品））。
・	市道（小町通り、段かずら、大船の中通り）等の路面に期間限定で退色しない塗装を施して、広告料を徴収するのはどうか？
・	芸術会館の椅子や施設内広告掲示板の設置。
・	建物などは景観に影響することが多いのであまり積極的に行えないのではないかと思います。ただしスポーツ施設など（競技場、体育館など）で影響の少ないところに関しては良いと思います。 また、インターネットのホームページ等を活用するのは良い方法だと思います。観光案内のページを作成し、市内の店舗などの紹介をするようにすれば、鎌倉市の観光の促進にもなり良いと思います。また、ゆるキャラなどのユニフォーム、アクセサリなどを用いて広告するのは面白いのではないでしょうか。
・	もうやっていると思いますが、鎌倉市HP、facebookページなど。
・	広告媒体を検討するのであれば、webの活用が重要かと思います。紙媒体より状況把握が行い易く、費用対効果も明確です。また、どのように誘導すればよいかの検討が行い易くなります。市有財産であれば、「コレ」こそが一番手っ取り早くリスクもコストも掛かりませんね。
・	（東京都バスの車体広告のように）建物への広告掲載を考えているのなら、反対。鎌倉市観光協会のWebに、各種観光ガイド誌の広告バナーを貼らせる形や、鎌倉市の公式YouTubeチャンネルを作り、再生の際に広告が流れるような形がよい。
・	印刷物やインターネット関連などの範囲が良いと思います。(具体的なものはちょっとわかりません)
・	印刷物や封筒、ホームページなどが当面の媒体でしょう。
・	「かまくらガイド」「市の封筒」同様に、各種広報物・新聞など全部。（学校関係などは裏側などの工夫・配慮が必要）
・	市役所で書類を入れる袋（市民へ渡すものを含め）に広告をいれる。
・	市が発行する「広報」等に限定すべき。
・	広報鎌倉とは別に、広告を中心とした住民向けの媒体開発。あるいは広報鎌倉への広告掲載ではなく、同梱サービス。
・	市有車(ごみ回収車含む)、市職員の制服や作業着、有料化した際のごみ袋。
・	市役所保有の自動車、ごみの有料化の際に発売するゴミ袋、市役所の塀や建物の壁、駐車場の路面や駐車スペースの床など。
・	公用車（小型車も）のボディへの広告掲出を検討したらいかがでしょうか？ 家庭ごみの有料化の実施が決定した場合は指定収集袋への広告掲出を検討したらどうでしょうか？
・	公用車の車体、図書館の貸し出し時に印刷される用紙の裏面、市役所窓口の番号札裏面。
・	市外の企業の広告を優先する。出資者が市外の企業でないと、法人税収が減る。
・	「鎌倉」というブランドの恩恵を受けている法人や商店など。
・	神社、仏閣等の広告。
・	ＪＲ鎌倉駅東口公衆トイレは観光客がもっとも多く利用するトイレなので広告場所としてはよいと思う。外側ではなく内部に広告スペースを設けるのはどうか？女性用トイレならば化粧品事業者など公衆衛生に関連する事業者を採用する。飲料などは向かないだろう。
・	広報やホームページ以外に、どのような市有資産について掲載し、何について掲載を控えているのかが分からないので、答えようがないが、いずれにせよ幅広く検討すべきだと思います。
・	市有資産の目的からみて、あまりにもかけ離れている場合を別として、どこでも利用すればいいのでは。
・	広告主、内容に関しては不適切なものが無いか事前検討することが必要と思います。
・	広告掲載については、その表示方法について一定のルールを定め、統一的な表現部分を規定するようにした方が良いと思います。
・	広告、看板は リサイクルできるものがよく、また 看板広告は一定の 芸術性のあるもの以外は 鎌倉市では 撤去または交換が望ましいと考えています。
・	古都鎌倉のイメージダウンにならないものに限る。
・	現状で留めるべき。
・	支所や学習センター内。すこやかセンター内。
・	具体的には考えつかない。主要市有資産あるいは、候補資産のリストでもあれば答えやすいと思うが。

≪行革推進課から≫
広告収入による財源確保については、8割の方がご存じであり、また、9割近くの方が肯定的に捉えていただいていることが分かりました。
広告媒体については様々なアイディアをいただきありがとうございました。景観等への影響については慎重に配慮しつつ、今後も新たな広告媒体の開発に努めてまいります。

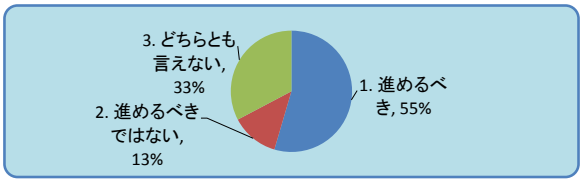
●質問4●　市では、市の施設（市有資産）などにネーミングライツ（施設等に愛称の命名権を設定し、その権利を取得した企業等から命名権料を支払ってもらうしくみ）を設定し財源を確保する取組みを進めていますがご存じですか。

	(名)
1. 知っている	98
2. 知らない	14



●質問5●　ネーミングライツによる財源確保を進めることについて考えをお聞かせ下さい。

	(名)
1. 進めるべき	61
2. 進めるべきではない	14
3. どちらとも言えない	37



●質問6●　今後、ネーミングライツを設定するのに相応しいと考える市の施設（市有資産）等があればご記入ください。（自由記述）
（同様の回答については、一部集約をさせていただいております。）

・	行政センターや生涯学習センター、青少年会館、図書館。
・	公園、体育館及び運動場、保養施設、特に鎌倉芸術館。
・	鎌倉武道館・鎌倉芸術館 （子どもの家・子ども会館など、ふさわしくないものにネーミングライツを導入すべきではない）。
・	武道館とか、利用頻度の高い施設が適していると思います。
・	鎌倉文学館、国宝館等の施設。
・	芸術館、学習センター、体育館、焼却場、リサイクルセンター、公園など。
・	公園、グランド、体育館など市民に開放して利用する施設。
・	駅近の駐輪場、陸橋、公衆トイレ。
・	鎌倉駅前のきららかまくらのホールの名前。
・	公教育施設内のプールや体育館、市行政センターなどにネーミングライツの広告企業体を誘致。
・	鎌倉武道館は東海道線からよく見えて宣伝効果のある施設だ。スポーツ用品事業者に上品なロゴなどを掲示して使ってもらうのはどうか？
・	世の中に野球場の例もあるので、体育館やプールなど運動系は違和感ないのでは。それから文化施設、生涯学習センター、各地域の児童施設など。
・	運動施設、建築物へのネーミングライツには抵抗感はない。但し歴史的資産にはそぐわないであろう。
・	対象施設が少ないように思うが、市道などは対象になりうる。
・	市道、町道、交差点名（市有ではないですか？）プール、体育館。 ただし、ネーミングがそぐわない場所もあると思われます。それ故にQ5に対する返答は「どちらともいえない」としました。
・	児童公園、市営駐車場、プール、体育館などは良いと思います。ただし、図書館や病院など名前が頻繁に変わると利用に困るような施設は慎重にした方が良いと思います。
・	海水浴場の命名権はいかがなものかと思う。公会堂とか体育館なら分かるが。
・	海水浴場、通りの名前等に以前のものと併記する形にする。
・	由比ヶ浜も確かそうだったと思いますが、元の名前を残しつつ対応されるのであれば問題ないと思います。
・	総額で市の収入の何パーセントなのか、１％位であればネーミングライツをする意味と、鎌倉のイメージを失う比率によっては、意味が無い。
・	神社、仏閣等に対するネーミング利用。
・	ネーミングの品位を制限する仕掛けが必須。出資者が市外の企業でないと、法人税収が減る。
・	歴史的に知られているものは避けるべき。
・	歴史的資産を除いて、かつ、景観に悪影響を与えない範囲での実施が良いと思います。
・	当市の市有施設には、広告主から見たとき、ネーミングライツの価値が見い出だせる程の広告露出効果が期待できるようなものは存在しないように思います。また、「武家の古都」としての景観・風致を損ねる可能性も危惧されるため、慎重に進めるべきと考えます。なんとか考えても現時点では、体育館程度かと思います。
・	鎌倉という性格から見て、観光客の目につくものは避けるべきでしょう。それ以外の武道館のような施設、中央公園のように市民以外の使用が少ないものなどはいいかもしれませんね。
・	個人の意見も大切ですが、各種「検討する会」などを、市が事務局になって積極的に推進すべき。
・	ネーミングライツは一時的な流行であり、まもなくマスコミも取り上げなくなると、応札会社も現れなくなるはず。そうなれば、事務コスト（担当公務員の人件費等）を回収できなくなるので、拡大には反対。
・	今回の海岸のネーミングライツについては、海岸の固有名詞が　企業に売られてしまうような誤解が生じた。まだなじみの薄い制度なので、市民にもっとわかりやすい説明が、決定前から必要だったと思う。
・	市民の理解度などをみてから　進めるべきだと思う。
・	市が所有する施設に限定すべきだが、期間を限定すべき。

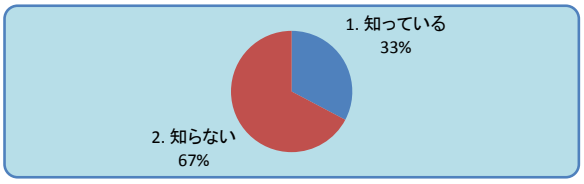
・	案内掲示について統一的なルールに従うことと、対象はすべての施設でよいと思う。問題はスポンサーが使いたくなる施設を全て対象にしてよい。
・	そんなもので増収をはかろうとする考えが間違っている。
・	「古都鎌倉」を前面に打ち出しながら、ネーミングライツと言う手法を取る事自体がナンセンス。市長、並びに承認した議会の神経を疑う。

≪行革推進課から≫
ネーミングライツの取組みについては、多くの方がご存じでしたが、その取組みについては進めるべきではない、どちらとも言えないと回答された方が半数近くとなりました。
また、具体的な対象施設としても、公園や体育館等は相応しいと考える方が多いものの、拡大については慎重な御意見もいただきました。御意見の趣旨については十分考慮しつつ、今後の取組みを進めてまいります。

●質問7● 市では、市の施設等（市有資産）の空いているスペース等を企業等に活用してもらい、目的外使用料などの収入を得る取組みを行っていますが、ご存じですか。

(名)

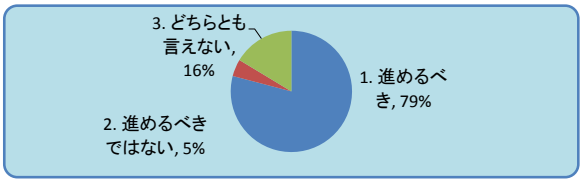
1. 知っている	37
2. 知らない	75



●質問8● 市の施設等（市有資産）の目的外利用を進めることについて考えをお聞かせ下さい。

(名)

1. 進めるべき	88
2. 進めるべきではない	5
3. どちらとも言えない	19



●質問9● 今後、市の施設等（市有資産）で目的外利用を検討すべきと考える媒体（行政財産）があればご記入ください。（自由記（同様の回答については、一部集約をさせていただいております。）

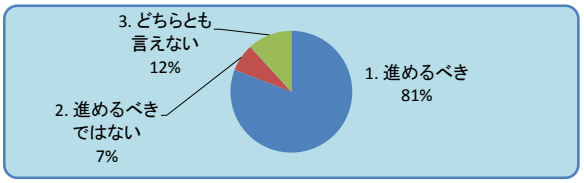
・	小中学校、運動場、図書館、鎌倉武道館、生涯学習センター、休日の市役所。
・	公教育等施設。
・	文学館、華頂宮邸。
・	博物館・美術館・図書館・公民館のようなスペース。
・	学習センターの空き部屋（要調整だが）。
・	現在4つある地区センターに地元の商店をテナントとして貸し出す。
・	浄化センター（武道館の反対側）の市民利用への開放。
・	利用していない土地の活用。例えばレイウェル鎌倉など。
・	野村総研跡地の公園化、子供からお年寄りまで楽しめる自然を残しながらの開発。
・	野村総研跡地、旧鎌倉園などなぜ放置しておくのか。
・	腰越漁港の民間貸出し。
・	体育館。利用者数を「延べ人数」で見ず「名寄せした人数」を計数し、人口に対する割合が少なければ、利用日を制限してでも企業に有償で貸し出すべき。
・	市役所を含めた各施設の屋上や外壁への広告掲示が良いのでは？？？空けておくには勿体ない場所です。
・	広い空地などがあるのであれば、バザーや各種祭りなどに積極的に貸し出すのが良いと思います。また建物などについて、地域の人が集まる場所も限られているので安い値段で貸し出せるのであれば便利です。
・	１）学校の空き教室を保育園に貸出し。 ２）学校の教室の中で平日日中でも稼働率の低い、視聴覚教室や講堂の運営をコンセッション方式を使って、市民に貸出し。 ３）学校の教室・グランド等の放課後・休日の貸出を英会話教室や学習塾にも開放。市民への貸出しもコンセッション方式を使って、貸出可能時間帯を拡大する等して、稼働率をアップ。
・	ＮＰＯが委託事業をしている笛田リサイクルセンターは市民が日常的に利用するには不便なところにある。会議室やフリースペースを含めて、事業者に貸し出してはどうか？
・	行政センターなどの空き部屋。そもそも、どこが空いていて、どういう団体が、いくらで借りられるかなどの情報がどこで手に入るのかも分からない。
・	売却できるものは売却し、必要部分をリースバックすればよい。
・	遊休資産であれば売却するのが筋です。どうしても売れない事情があるもので、遊んでいるならどんどん賃貸で稼ぐべきです。
・	市有地の 売却については、もっと慎重になるべきであり、市街地緑化に利用したほうがよい。

・	業者や市有力者との癒着がないように推進願います。
・	市民優先の原則が守られていれば、ドンドン推進すべき。
・	当該地の背景、場所にも相応・不相応がある。安易に推し進めるべきことではないと思われます。
・	鎌倉文学館などでも、山手異人館や三渓園のように、挙式やウエディングフォトサービスなどに利用できるようにすると良いと思う。
・	具体的にどのような市有資産があるかあまり知らないので具体的な意見はありませんが、市が必要とするものをまずは充実させてそのあとの施策のように思います。
・	企業に貸す前に待機児童の問題や学童施設の拡充・スポーツ施設としての開放等子育て支援に活用できるようにしてほしい。
・	どのような施設があるのか不明のため、答えられない。
・	申し訳ないが、該当する施設が明確でないので、コメントできない。
・	質問に使われている行政財産などの単語が不勉強でわかりませんが、どの施設でも進めていいのではないでしょうか。
・	市の施設（市有資産）がわからない。
・	「目的外」の定義が明確で無いので回答できません。
・	目的外利用の範囲が不明。

≪行革推進課から≫
行政財産については、その用途や目的を妨げない限度において目的外の使用を許可することができ、行政財産の目的外使用料を納付していただくことになります。
本市においても、太陽光発電設備を設置する事業者に、小・中学校4校の屋上を貸し出すなどの例があります。
行政財産の目的外利用を通じて、行政財産の有効活用と市民サービスの向上を同時に図るなどの取組みができればと考えています。

●質問10● 市外に住む方々から、ふるさと納税制度を利用して寄付を募ることについて考えをお聞かせ下さい。

	(名)
1. 進めるべき	90
2. 進めるべきではない	9
3. どちらとも言えない	13



●質問11● ふるさと納税制度において、市外の方々が鎌倉市に寄付をしたくなるようなアイディアなどがあればお聞かせ下さい。（自由記述）

・	現状のように観光志向が強く、休日など住民が安心して道路も利用できないような状況で、故郷に寄付をしようとするだろうか。
・	緑の保全。
・	江ノ電や寺社のチケット、鎌倉のお土産や寺社で販売しているものをプレゼントする。
・	広報・ネットでのＰＲが足りない。鎌倉検定４級（新設）を受けてもらい、合格者には、鎌倉大使のパスを発行。このパスで神社の入場料金は同伴者（多数も）も無料。
・	鎌倉に家はあるが、鎌倉に住んでない人からも税金を徴収すべきと思います。寄付を募るのは難しいのでは？
・	歴史的資産維持・整備に特化した特別財源に利用を限った寄付にしてはどうか。観光立国と同様に、歴史・観光資源を持つ利点を最大限活用し、歴史資産の整備を推進して財源確保をさらに進める。駐車場整備、観光ガイド資格制、休憩所整備など海外事情も参考にして観光資源での財源循環を検討してはどうか。
・	寄付した人の名前が残り見ることができるようにする。
・	米子市や鳥取県など多くの自治体が導入しているように、1万円など一定金額以上を寄付した人に鎌倉の特産品を贈ることが必要だと考える。実際に米子市では、平成25年度に納入された寄付金額約2億9000万円のうち、特産品の購入費や発送費、シルバーセンターへの業務委託費などの必要経費を除いて、半分が純益として計上できたといわれており、鎌倉市も導入するメリットは大きいと考えられる。鎌倉市はもともと知名度があり、観光客も多く訪れているので、「ふるさと納税」と観光をタイアップすれば、シナジー（相乗）効果が期待できると思われる。
・	金額によるが寄付すると寺社拝観料が無料になるフリーパス等。
・	有名寺社仏閣の「御払い」を提供するにはどうか？
・	納税したものがどのように使われたかを納税者にフィードバックすべき。
・	市外納税者として表彰し、市内の文化施設にその名を刻むなど。
・	「鎌倉」ブランドが邪魔で、寄付をしたくなるとは考えにくいが、「新興企業により景観が壊されようとしています。皆さんのふるさと納税で、新興企業を誘致しなくても町並みが維持されるようご協力願います。」
・	鎌倉の有名ブランド食品の提供。
・	ふるさと納税やってますが、やはりお礼のお品で決めることが多いため、その点を充実すれば問題ないと思います。
・	ふるさと納税の金額を何らかの使途を明確にした費用に使うということとして、単に財政を助けるためのものではなく、鎌倉の具体的な何かに役立つ、ということをはっきりさせるというのはどうでしょうか。
・	特産品などがないので、花火大会の有料席券くらい？
・	減税メリット以外に特にない。
・	寄付の額に応じて、鎌倉やさいとか鎌倉名物の物産を進呈する。　例）夕張市の夕張メロン

・	１口１本の木を植えるなど、その木が大きくなり森になるような「鎌倉の緑化への貢献・参加寄付」は賛成。単なる寄付（鎌倉市が「金が欲しい市」になる行動）は反対。＝鎌倉のイメージダウンになることは反対。
・	空地緑化、緑化維持のためだけにあてがわれる「緑化税、緑化寄付」や遺産維持のためだけにあてがわれる「遺産維持税・遺産維持寄付」など。
・	海産物、はとサブレー、正月１-３日通行許可書、八幡宮・鎌倉宮等お守りお札毎年送付等。
・	具体的に市がどのようなことをしようとしているのかが一目で分かりやすいようなもの（難しい書面のようなものではなく…）を提示したらいかがでしょうか。クラウドファンディング「いいくに」のように参加しやすい仕組みを市にもつくってほしいと思います。
・	寄付をしてくださったかたが何か達成感というか、「自分が寄付をしたんだ」と感じられるような付加価値のようなものを提供するとか…？（参考URL:http://iikuni-kamakura.jp）うまくまとまらず申し訳ありません。
・	自治体によっては、商品等を納税者に贈答しているが、そういったことはすべきではない。 これまでの質問にもあったが、ネーミングライツと併せて、市の施設に年度内名前を掲載するなどの特典はどうでしょうか。
・	「納税」という表現は良くないので、別の言い方にあらためるべき。観光に来る以上、環境への何らかの負荷をかけるので、それについての費用負担は当然だと思う。
・	１）鎌倉手形、江ノ島・鎌倉フリーパスのような「公共交通乗放題」のパス（納税額に応じて、枚数を増やす。ただし、記名式・転売不可に）。 ２）鎌倉花火や流鏑馬の観覧席の優先販売（先行販売、割引価格）。
・	鎌倉の物産(鎌倉野菜等）の送付や市のイベントへの招待。
・	広報かまくらの発送、通行手形の発行、花火大会特別席の案内。
・	観光都市として更に充実を図るための費用がますます増加することに備えるために多くの方の理解を求めては。
・	一定の納税額以上の場合、鎌倉の全部のお寺年間無料拝観券を付ける。
・	ようこそって雰囲気がどこまであるかによると思う。奈良や京都のお寺は、ようこそおいでくださいましたとお寺の人が出てくるが鎌倉はそうではない。閉鎖的な印象を受けると思う。もっとようこそって気持ちが出た企画が無料のチケットやお茶サービスなどがあって、そこに寄付金もセットで告知してあると、寄付する気持ちになると思う。
・	とにかく、地道に、市の現状をアピールすること。
・	鎌倉の名産をプレゼント。
・	どこでもやっているが、寄付に応じた特産品やギフト件のプレゼント。
・	レール＆ライドの利用権交付。鎌倉花火大会の特等席権交付。
・	他の自治体にふるさと納税したくなるのは、その自治体からの特産品が送付されてくることに加え、クレジットカードによる支払が可能であることが大きいです。HPから簡単に支払い手続きができる仕組みにすべきだと思います。謝礼に選択肢があることも必要でしょう。お土産物セット（食べ物系、グッズ系）、市内の乗り物バウチャー、拝観券付ツアーなど。
・	鎌倉の環境保全、生物多様性保全。
・	「ふるさと納税制度」は適切でない。「寄付」は良い。寄付を一般財源とせず、使途別に寄付を募るのがよい。
・	鎌倉好きな方々は日本中にたくさんいます。観光でお金を落としてもらうだけではなく、古都鎌倉を守るために、ふるさと納税制度をもっと宣伝してみてはどうでしょう？
・	納税者は期間限定で市の関係物件の入場料が割引になるパスポートの発行や、用途の要望などを詳しく聞いて何かそれに反映させるなど。
・	鎌倉の公教育（小・中・高）卒業生同窓会へのアプローチ。
・	地産物。
・	お礼として、ある金額以上の納税者に鎌倉の物産を送る。あるいは鎌倉観光ツアーチケットの送付。高額納税者乃至長期納税者には交通費や宿泊費負担のツアーも考えたらどうでしょうか。
・	鎌倉の美術館のチケットをプレゼント。鎌倉祭りや花火大会に招待する。
・	鎌倉ファン・鎌倉リピーターをターゲットに、鎌倉花火大会有料席の無料招待、流鏑馬観覧席の無料招待、など、ワンランク上の観光を楽しめるような企画を実施する。
・	鎌倉の文化に不似合いな大型ショッピングモールなどを海に作らなくてもいいように、長期的視点で考えられるようにあなたの安定したふるさと納税が必要です！という方向性のキャッチコピーはいかがでしょうか。
・	鎌倉市は財源があるから外から援助することは必要ないという見方があるかもしれないが、目的を明確にして・・「観光施設の充実」など・・行えば理解も進むのではないか。
・	神社、寺の住職による特別講演会の招待。（市が企画する）花火大会への入場招待。
・	アダプト・フォレストといったネーミングで企業が一定期間山の管理費を負担している事例がある。鎌倉の山を愛してやまない人たちに限定つきの寄付の募集をしてほしい。鎌倉の山は荒れていて保全事業が追い付いていないのが現状だ。
・	毎年鎌倉市ならではのハガキが一通届く程度でも、記念になって良いと思います。またふるさと納税をしている人は、市民と同様に、アンケートなど市政に参加もできるとかするとどうでしょうか？
・	鎌倉中心地？にETCに似た何か(正式名称を知りませんが…)を設置するなら、それをスルーできるような特権(地域住民と同様の措置)が受けられるとか。
・	納付金額に応じて、市内の交通機関（神奈川中央交通、江ノ島電鉄のバス・電車）の1日パス券をお礼にする。

≪行革推進課から≫
　ふるさと納税とは、新たに税を納めるものではなく、ふるさと（自分が貢献したいと思う都道府県、市区町村）への寄付金のことで、個人が2,000円を超える寄付を行った場合、住民税と所得税から一定の控除を受けることができる制度です。
　今回、様々なアイディアをいただきましたが、いずれも寄付をして下さった方に対し、どのような価値を提供できるかがポイントになるものと思います。
　いただいた御意見を参考に、「ふるさと納税制度」の活用について更なる検討を進めていきたいと考えています。

●質問12●　鎌倉市の財源確保の取り組み全般について何かご意見がありましたらお願いします。（自由記述）

・	税金とは異なるが、図書館基金の様に用途を決めて市民から集めることを進めるのはどうでしょうか？
・	市長や職員の給料の減額及び職員の削減（出張所の職員は暇過ぎる）。
・	定員削減(市議会含む)、全国トップクラスの給与水準の引き下げが先決で、それなくして市民に負担を求めるなど容認しがたい。
・	海岸など、場所や地域のネーミングライツはすべきではない。鎌倉市に住んでいるもののアイデンティティを侵すようなことはすべきではない。
・	少額なら利用料をとることも必要かも。
・	話題になったロードプライシングや駐車場への課金を進めて欲しい。
・	年間1,900万人の観光客からの集金を考える。お寺の入場の際お寺とは別にスイカを設置100円を徴収。市民はスイカに鎌倉住民を登録、徴収しない。
・	魅力ある観光資源の存在を逆手にとって、ロードプライシングを推進してもよいのではないか。課金したからといっても、市内流入車両削減への効果は疑問であるが、観光資源整備への特別財源を掲げれば全国初でありながら運用成功すると思われる。
・	１．受益者負担の考え方で、支出に対応する財源確保をまず考えてください。 ２．赤字になった企業での対応の定番は、収入に見合った額に支出を押さえることです。鎌倉市のように、支出にあわせて新規の収入源を考えて成功した例はほとんど聞きません。小手先の検討でなく根本的な考え方の見直しをお願いします。
・	確保も必要と思いますが、支出を減らす努力も併せて行う。
・	総合的にみれば、鎌倉市の市債残高はここ10年の間に逓減していることは評価している。ただ、主要財源となる住民税や事業税が景気により左右されるうえに、社会保障費も毎年増加している中で、景気に左右されない第三の財源を確保する道を本格的に検討すべき時に来ているのではと考えている。例えばふるさと納税や企業広告の導入など、今回取り上げたテーマはぜひとも早急に検討すべきである。
・	職員の削減。駅前ビル窓口の廃止、または人数削減。
・	支払い能力があって税金を払わないケースは、催促は言うに及ばず、裁判や差し押さえなど、出来ることを遠慮せずドンドン実行してほしい。
・	１）神社、仏閣等からの積極的な寄付の勧誘。 ２）観光、海水浴等を目的とする外部からの訪問者に対する観光税、訪問税等の徴収方法を検討しては？
・	藤沢市では小規模多機能型居宅介護という介護保険の１事業所で年間1000万の介護保険料削減ができている絆という事業所があり、そういった事業所が鎌倉に10カ所できれば介護保険料が１億円削減できます。結果的に市の財政改善にもつながります。財源を得る事は、現状の見直しや、そういった事業所の誘致などもご検討頂ければと思います。
・	65歳以上の方に配布しているバスの無料パスは申請制にして、全員に配るのは廃止したほうがいいと思います。届いたご近所の方が、年寄り扱いされて不快だとおっしゃってました。そういう方は多いと思います。
・	富士山の入山料のように、入古都料を導入してはどうでしょう。
・	市内の個人事業主や零細企業と協力し、ビジネスの活性化や売上げ向上にむけて活動を行う。そうすれば、住民税の所得割分が増加し、よって財源が確保できるはず。
・	週末の市外よりの観光目的自動車・バスに対して入場税を取る。市内の交通混雑緩和と環境改良に役立つ。
・	財源財源と仰せですが、財源は単年度黒字を出した実績が有るのですから、職員の給与水準を全国並みにすることで、問題が解決すると思います。また議員数削減をしても、その予算で議会運営を行っているようでは費用削減とはいえません。また職員の喫煙は無給にすべきでしょう。作業の効率化が図れ、残業代の圧縮にも繋がります。組合は労働者のためといいますが、行政を邪魔する組合であれば解散させるべきでしょう。手を付けるのはそこからじゃないですか？支出を抑える！まずそこから。後は、「わたり」を止めさせれば解決じゃないですか？国からの指導も受けていることですし。
・	１．税収を増やすために若い世代の居住を進める。 ２．ロードプライシングを実施し課金を徴収し、車の流入を制限する。 ３．コスト削減のため、市の事業の民間委託を進める。
・	広告費は魅力的な財源ではあるものの、広告財源に頼りすぎると、広告主の意向に市政が左右される危険性もあるので、財源において低いパーセンテージを維持する方が健全であると考える。
・	積極的に産業活用して、税金を下げる必要がある。
・	お年寄りが多いのはわかりますが、70歳以上の方は優雅に優雅に生活されている方も大勢います。そういった方については年金を減らすなどの努力をしてほしいです。
・	住宅地としての鎌倉の魅力を首都圏の人々に訴え、若い人、現に働き盛りの方の転入促進により、高齢者比率を引き下げることが結果的に財源確保につながるのではありませんか。
・	特効薬は、寺院拝観料への観光課税。一人一回に５０円程度取れれば相当潤う。これを財源にして観光資源整備や道路インフラなどの拡充に充てるべき。
・	観光客で収入を得ている寺院に観光税をかけるべきである。広報かまくらでも紹介がされており、共存共栄を図るべきである。
・	史実を大切にし、オーバーにならないように。古くからいる市民の甘さ、かつての市政の甘さが浮き彫りになっている。市役所の縦社会が仕事量を増やしている。以上、市民、役人双方が意識改革することにより、間接的に支出が減らせる。
・	職員の削減・減給でしょう。
・	お寺の拝観料から景観、観光資源、ＰＲ活動、トイレなど管理維持費の負担をお願いする。富士山登山者から入山料を徴収するように、鎌倉に訪れる観光客、若しくは自動車、バイクから小額の通行料を頂くようにしたらどうでしょう。
・	将来の財源確保・拡大の為に、企業・学校などの誘致や、使用していない校舎などをベンチャー企業などの育成に使用し将来の財源確保に繋げる。１０年間は移転しないような契約などの工夫・法的縛りが大切。
・	１．逗子市、葉山町との合併を推進しごみ焼施設等の共有化を図る。（前段階として広域化を図る） ２．長期的には野村総研跡地に複合ビルを建設、市役所を移転させ現在地の有効利用を図る。複合ビルには税務署等の国の施設、水道局等　県の施設、その他民間施設の誘致を図り市の負担軽減を図る。 ３．生ごみの有料化の早期実施。 ４．市内流入車両の有料化の早期実施。
・	鎌倉市のことを心から願う訳ではない職員への給与（人件費）はその全額が無駄使い甚だしい事であり、人数削減するべきだと思う。一方、それが感じられれば給与・人数の減量は必要ない。市役所ではその「熱」を感じられない方も散見する。人件費は一時的な出金ではないので、中長期的には最も財政に影響すると考えます。

・	鎌倉市は観光都市であり、外部観光客の誘致と観光都市としての環境施設の整備は欠くべからざるものと考えられる。我々の納める税金の一部が支出されることは勿論のこと、今後は観光事業に関わるすべての業者、お店、社寺等にも財源面で協力してもらい、個々の施設ではなく、市全体やグループ毎に工夫を凝らすことも一考と考える。 連休中に神戸市を訪れる機会があったが、観光客が集まりそうな処には街中のいくつかの場所に市の観光案内所があったり、いくつかの観光施設が組んで纏めて買えば多少安い入館パスポートを発行してスタンプラリーをやったり、多少の行き過ぎはあるがそれなりに行政だけでなく市民が協力して行く様が垣間見えて参考になった。こういう儲け主義のことをあまりやり過ぎないのが鎌倉市の良い処でもあると思うが、鎌倉市を良くするための財源確保ということであれば参考にして欲しい。
・	寺社仏閣に、何らかの形で税負担にあたる費用を寄付してもらう。また、世界遺産への登録は無くなったのだから、それに関わる費用は一切、なくすべき。一部の業務は外注するなど、一般企業がやっているような経費削減を行い、人件費なども大幅に減らすことも重要。とにかく、どこからか財源を「もらう」のではなく、自前でできる事を、新しい視点も入れながら考え直す事が一番の早道と思います。
・	Q9で、どの施設（Which）をという前に、どのような方法（How）を取るかを熟慮すべきで、こもれび山崎温水プールやコンセッション方式のようなPFIを活用すべき。言い換えると、財源確保のために必要となるコストについて十分に検討せぬまま「採算性の低い」アイデアに走れば事務に係る公務員の人件費をカバーできず、財政はかえって悪化する。民間の採算意識を公務員に求めるのが無理なら、コンセッション方式等のPFIを大々的に活用すべき。
・	今回の設問については、反対の理由がないので賛成した。しかし、それぞれの額が微々たるもので、市の財源確保に寄与するとは思えない。財源確保については、市の財政状態を民間会社の会計に準拠して分析することを提案する。款項目という分類の予算表では理解できない。
・	市内に流入する自動車から入市料を徴収し、混雑解消と財源確保に役立てる。公共トイレの有料化。観光客向けの便利な市内ガイドの販売。市の堆肥を３キロ、５キロなどの袋詰めにして少し安く市民ばかりでなく販売すること（現在のように無料である必要はない）。
・	経過が分からないので回答できない。
・	最近、宅地開発が進んで大きな宅地の分割が進んでいる。これにより私道が増え、旧道化した市道が不必要になってきている箇所もある。道路の組直しで市道を減らし、販売すればどうか。
・	市の職員が、まず管理者が率先して仕事の効率化に取り組むこと。人件費を市民に見える形で減らすことが、全てのスタートである。
・	神社仏閣って無税なのはおかしい、考えてほしい、でなければ災害時の避難場所に。入場料の何パーセントは市の取り分にしたら。
・	住民税や固定資産税だけに頼るのではなく、新しい価値を生み出すと共に 10か年、50か年、100か年、200か年計画で長いスパンで 鎌倉歴史を維持し、景観を守りながら 人材の育成、観光地としての整備を進めたほうがよいと思います。（ 関東大震災、東京直下くると想定したうえで）
・	広告収入、命名権料、施設使用料等による収入は、財源確保を図る手段としては有効であり期待したいが、利用できる施設等は限られておりまた民間企業も宣伝広告費は厳しい経営の状況下では制約されてくることを考えれば一時的な手段に過ぎない。抜本的な財源確保を考えるべきだ。
・	ロードプライシングの実施による財源確保と交通渋滞の緩和の両面での対策。
・	観光客にもごみ処分料を何らかの形で負担してもらうなどするとよいと思う。
・	政治団体,宗教団体等思想に関する広告は止めて頂きたい。
・	リサイクル品の財源組入れにもっと積極的に取り組むべき。アルミ缶、スチール缶、新聞、ダンボールなど。
・	財源を確保すると同時に、全国でも最も高いと悪名高い市の職員の給与引き下げも検討されることを願います。
・	世界各国でやっている観光税の確保の検討。今回の調査のようなものでは額が知れている。
・	財源確保より、子育てがしやすい地域として、若い人を鎌倉市に移住させる努力をしてほしい。
・	財源確保と同時に費用削減も進め、健全な財務体質を回復してほしい。人口現象と高齢化を見据えた明確な方向を示してほしい。理解できれば市民はその方向に進むと思います。
・	緑の山、公園の、企業命名権の利用。企業は、Ｃｏ２削減の利用。市は、企業からの収入を、緑の維持、ハイキングコースの維持、公園の維持費用に利用する。
・	このアンケートの内容に意味があるのか疑問です。なんか、鎌倉市の財源確保の必死さが伝わらない。
・	「観光客」が鎌倉の資源ではない。税収に多くの割合を占める納税者住民（会社員？）にとっての「誇れる町」のブランド価値を高めて、市民税を増税すればよい。観光客を制限して、「文化財と景観保全」特定の市民税を増税できる方向へ進むべき。
・	積極的に進めてほしい。
・	古い方々の意見は意見としてお伺いすることとして、財源確保と『昔は良かった』の両立はできないので、積極的に検討してほしいです。市県民税増税と別途財源確保のどちらが良いか迫ると良い気がします。
・	市街地の行政センターや市庁舎など、老朽化が問題になっているが立地の良い建築物は、歴史を活かしつつも、たとえば室町コレドなどのように逆に最新設備のビルなどに建て直し、複合商業施設やオフィス、賃貸住居など、話題性と収益性のあるビルに建て直すと良いと思う。
・	鎌倉市内の神社仏閣での婚活パーテイや結婚式場でのコーディネイトを鎌倉市が行う。新婚住居は空家・中古家屋の斡旋。健常妊婦の出産・分娩相談（ティアラ鎌倉）居住人口の増加を狙う。
・	コスト削減などのマイナス方向ではなく、プラス方向の工夫は良いと思いました。
・	施設活用に関するアイデアは、民間の企画・運営業者から、広く意見を募集（入札等）をしてはいかがか。
・	財源を増やすことは言葉を変えれば酷税になるのだから、まずは出ずるを制することから始めなければならない。それは他の市と比較してどの位置にあるかをきちんと把握する必要があるだろう。その努力の後になるだろう。天下りを受け入れてくれる業者の高い料金を受け入れることなどがあれば論外ですね。
・	市の職員人数を減らす。市の職員に鎌倉市民の率を多くすることで、意欲ある人を増やす。
・	基本は進めるべきだが、目的が市のものとしてふさわしくなかったり、例外的な場合は、考え物だと思う。
・	人件費の削減などよりも、事業のスピードアップ、効率化、不要事業の洗い出しなどをより積極的に進めるべきだと思います。
・	そもそも財源確保の取り組み全般について勉強不足で、それについて調べようにも鎌倉市HPからはわかりませんでした。漫画にしろというのではなく、わかりやすい説明が欲しいです。 財源確保と支出抑制は一体で、例えば鎌倉市職員の年収レベルの高さにどう切り込むかという情報無しに、どの程度の効果を見込んでいるのかわかりませんが多少の広告収入について聞かれることに正直違和感はありました。 勿論、多くの課題から細かく切り分けた一部分だけ、我々市民から意見を募っているんだろうとは思いますが、全体感なしに回答したことが本当に役に立っているんだろうかという不安はあります。 ある程度行政にも通じているのであれば市有資産、行政財産などが何を指すのかもわかるかもしれませんが、例えばどんな資産／財産があるのかが書いている鎌倉市HPのリンクなどが有れば親切だと思いました。 という風に、どう答えていいのかわからずに回答が遅くなってギリギリになりました。考え過ぎですかね。

・	財源は、「収入の増加」だけでなく、「支出の適正化」をより検討すべきと思います。
・	広報紙に財源確保の為の事業事例が紹介されていたが、事業収入は以外に少なかった。さらに努力を重ねていくことが大事だ。公衆トイレ管理費の寺社の負担について（特に鶴岡八幡宮）議論を始めてもらいたい。
・	鎌倉市をより広く紹介する意味で、twitterなどで常に鎌倉の情報を面白く発信するのは有効だと思います。あるいはfacebookなどを用いていろいろな人が鎌倉の魅力を述べる場所があると、長い目で見て鎌倉市の魅力を向上させると思います。そのようにして人を多く集めた上で、そのような場所に広告用のバナーを導入すると良いのではないでしょうか。
・	1.相続税の様な死んだらその財産に課税する税を設ける。 2.今後予想される「ゴミ焼却場建設費用」をその目的の為の市債を発行する。そして、町内会、商店街、一般市民、一般企業に販売する。（鎌倉市民は、所得水準が高いと聞いている。また、高齢者の資産も高いと聞いています。）
・	質問の趣旨とは、ずれるが豊島屋には、返金すべき。そもそもネーミングライツを市民が反対していたものを、市の調査が未熟な段階で、高値で販売し、実施段階になって、民意を吸い上げた民間企業が、市民の意見を反映した結果、命名を見合わせる、など・・・・鎌倉市の詐欺ではないか！返金しないならば、厚顔無恥。恥を知ってほしい。まあ、シナリオとしては、市・・・返金を申出。豊島屋・・・申出を受けた上で、同額を市に寄付。これが落としどころではないの？根回ししたら？
・	観光地として、日本有数の知名度を誇る鎌倉であり、観光資源(観光客)抜きに財源確保は語れないのではないかと思います。 具体的に、どのような形で確保するかまでは、今のところ案をもってはおりませんが、とにかく、観光で成り立っていることを念頭に置いて検討すべきだと思います。

≪行革推進課から≫
本市の財源確保の取組みについて、今回様々なアイディア、御意見をいただき、本当にありがとうございました。
同時に、財源確保の取組みになぜ取り組んでいるのか、市民の皆さまの更なる御理解を得る必要性についても再認識しています。
歳出削減の取組みと併せて、今後も財源確保の取組みを進めてまいりますので、御理解、御協力をいただきますようお願いいたします。

このたびは、アンケートへの御協力、誠にありがとうございました。

【お問い合わせ先】
鎌倉市 経営企画部 秘書広報課 広報広聴担当
〒２４８－８６８６　鎌倉市御成町１８番１０号
ＴＥＬ　0467（23）3000　内線2505
ＦＡＸ　0467（23）6505
e-mail：emoni2505@city.kamakura.kanagawa.jp